

セント・ルカ産婦人科

LUKE MAGAZINE WINTER

ルカ新聞

No.38
2024.12.

大船山頂上より坊ガツル

柘^ざ
榴^{くろ}

誰も新しい葡萄酒を古い革袋に入れたりはいない。そんなことをすれば新しい葡萄酒は革袋を破って流れ出し、革袋もダメになる。新しい葡萄酒は新しい革袋に入れなければならない。

ルカによる福音書5章37節

とても有名な言葉です。

このフレーズを読む時、昨今の科学技術の発達と自分(達)のビヘイビアの関係を連想せざるを得なくなります。SNS、IT産業、特にチャットGPT、空恐ろしくなります(オーストラリアは16歳未満にはSNS禁止の決議をしたとのこと)。A・C・クラークの「HAL」のように、コンピュータが感情を持つことになりはしないか、今やSFではなくそんなシンギュラリティが怖い。子どものころの「夢の21世紀」とは、戦争のない、だれもが幸せに満ち溢れる豊かな世界になり、月や火星に植民地、空飛ぶ自動車、天候まで制御できる世の中になるはずでした。しかし現実の21世紀は、何のためらいもなく戦争が各地で起こり、真つ先に弱い人と子どもが犠牲になり、核兵器をちらつかせる事態になっています。世界では専制国家のほが民主主義国家より多いとか。この地球上で我々と同じ価値観を持つ人は半分もない21世紀だということ。このような背景の中、すさまじい速さで発達するIT関係の技術が世の中を席巻しています。スピードが速すぎるので新しい葡萄酒はどの革袋に入れるべきか、混乱しています。このような時にこそ、心を落ち着かせ、正しい方向を指し示してくれる心理学、倫理学、哲学、そして宗教の出番だと思えますが…。



巻 頭 言

院長 宇津宮 隆史

今、森永卓郎の本が面白い。「ザイム真理教」をはじめとした数冊の本が発行されています。財務省官僚がいかに絶大な力で政治の裏を操作しているか、そのために日本の国民の格差が拡大し、この30年間、給料は上がり、経済の停滞は根源がここにあるとのこと。さらに、日本のタブーと言える日本航空123便の墜落原因が自衛隊機によるミサイル誤射の結果と疑われていること、また、資本主義社会のキーである「株」の基本はギャンブルであり、NISAなどは10年後には暴落すること、マスコミではジャニーズ事件のようにテレビ、新聞などすべて忖度で動いており、まともなメディアは無いとのことなど、読み始めたら眠れなくなります。現在、森永氏は原発不明の末期がんで余命数か月、このような方の書かれた本には鬼気迫るものがあります。現在も10冊の本を並行して書かれているとのこと。1日でも永らえてほしいと思います。

ひるがえって我々医療分野ではいかなる波が見えるか。生殖補助医療（ART）が保険適用になって、様々な面で窮屈な診療をするにもそろそろ慣れてきましたが、ARTにはまるで素人の保険審査と思っていたら、ほとんどがAIでの審査らしいので、疑義照会には丁寧にいちいち答えるべきです。なぜなら相手は生殖医療について「素人」であるから、こと細かく我々が「教えて」あげなければ保険診療の幅が広がりません。それにしても外国では（さらにART保険適用前のわが国でも）常識になっている薬の保険適用はもっと敏速にできないものでしょうか。作用機序が同じでも薬効に収載されていないために使えないのは不合理です。

PGT-Aが先進医療Bに選定されたときに、なぜ、担当者は「先進医療Aにしてくれ」と主張しなかったのか。日本生殖医学会生殖医療ガイドラインではC判定の数項目が先進医療Aを与えられ、PGT-AはガイドラインB判定であったが先進医療Bとされ、いまだにその影響が多くの患者を悩ませています。患者の中にはあと1-2年がない方々も多い。PGT-Aは公式な論文も2編出ており、この方々を救う最も有効な方法です。

1回の採卵で最も妊娠率が高いのは卵胞数10個から15個であることは多くの研究・論文、および我々の実績・肌感覚でよく知られています。そこで10個以上を目標に採卵計画を立てています。ところが採卵料、体外受精・顕微授精管理料、受精卵・胚培養管理料、胚凍結保存管理料などは10個以上については一つにひっくるめてしまっています。胚培養士は10個以上であっても一つ一つ責任をもって丁寧に処理しているのです。胚培養士の仕事に敬意を払っていないと思います。またその各管理料も安値に抑えられています。他科の通常のクリニックでは医師と看護師、受付などで業務を行います。生殖医療ではさらに看護師に匹敵するほどの人数の胚培養士が働いています。この人件費が考慮されていない。

自然周期、低刺激周期の採卵周期当たりの妊娠率は5%前後ですが、われわれの調節刺激周期では10個後の卵子が獲得できるので採卵周期当たりの妊娠率は30-40%前後です。自然周期、低刺激周期を中心のクリニックは何度でも採卵、治療をする効率の悪い（患者にとって「体に優しい」とは言っても多数回の採卵を要

し、かえって負担が大きい) おそらく移植に達しない周期が大部分でしょう。PGT-A でも謳われているように、患者のためにも、治療～妊娠・卒業期間の短縮のためにも、調節刺激周期で1回の採卵で妊娠できる効率の良い方法をとるべきではないか。そのためにも、回数制限をするのであれば、その回数は胚移植回数ではなく、助成金時代のように採卵周期回数とすべきでしょう。

そもそも ARTの年齢制限、回数制限は憲法違反です。他の疾患で回数制限、年齢制限があるのは見られません。患者はすでに健康保険料を納めているのであるから、(医学的理由は除いて)何度でも、高齢でも治療を受ける権利があります。このように改善すべき点は多々ありますが、それらをまとめて厚労省に申請する機関は日本生殖医学会か日本産科婦人科学会であろうが、その気配はない。

昨今の話題では医学部卒業生のうち、美容整形を目指す医師が多いことがあげられています。患者の生死に関係ない、責任の少ない、保険制度から自由な、「楽して儲ける」分野に殺到しているとのこと。この傾向は「働き方改革」などという、ひと相手の仕事には不適当な制度を押し付けている思想が原因だと思います。そもそも、日本人は働くのが好きなのになぜそれをやめねばならないのか。勤勉が「美德」ではなく「悪」ととらえられています。ここ何年かのうちに由緒ある祝日が日曜、または月曜に移転され、3連休がやたらと多くなっています。これでは祝日の意味が分からない。働き方改革(?)で研修医は夕方5時には帰る権利があるらしいが、帰らず勉強をする権利もあるのではないのでしょうか。アメリカのテレビ番組「ER」では、救急医療室で必死に治療していた医師が5時になったらその治療をシフト勤務の医師に交代して帰ってゆく。この場面に違和感を感じるのが日本人だと思います。日本人であるなら、その患者の治療がある一定のところまで済んで、後は安心して他人に任せられる場面までその場を離れないでしょう。ひとを相手にする職業であるからには一般の会社組織とは次元の異なった働き方があるはずで、それを基本に考えることのできる官僚が厚労省にいないことが原因だと思います。ひと相手ではない通常の会社勤めのサラリーマン業務と、ひと相手の医療・福祉その他の業務とは分けて考えるべきであることは論を俟たない。

そもそも OECD先進国の中で世界一、医療費が安く、人口に対する医師、看護師の数が少なく、周産期死亡率最小などの世界でトップの医療を提供しているのが日本です。当初から看護師があまりに不足しているため、先人は各医師会単位で看護学校を運営、准看護師を養成するプログラムを作成しましたが、「充足」とはとても言えない状況で、近年では入学者が少なく、閉鎖した学校もあります。これも基本的に責任は国にあると思います。

別府平和園は宮崎祐介施設長を中心に活動を広げています。歴史的にも平和園は児童養護・養育を専門に展開しており、県や児童相談所レベルにはその能力を買われ、「平和園にまかせれば安心」と言われてきました。しかし、今後の児童福祉政策は里親・養子縁組を重要視する方向に変化してきており、その変化を見据えて平和園も将来計画を模索しなければならない時期が到来しました。よって、平和園の中心パワーである職員、特に若いスタッフに近未来の平和園の在り方、自分の希望する働き方、関心事などを調査しました。その結果、今まで培ってきた平和園の特徴、強みを生かして、もっと専門的に児童養護・養育を行う力をつけたいとの声が多く、それに基づいて、今年から国東方面の地域の子どもたちや親御さんたちと一緒に活動する場に参加し、必要とするケースには平和園での専門性を生かしてサポートする活動を開始しました。また同様なコンセプトから、18歳以上の就活支援や地域の「子ども食堂」への関与も始めています。このように平和園スタッフがその特徴・特技を携えて外部に働きかけることは初めての試みであり、近未来の子どもたちと平和園の在り方に対して、新しい視野を広げる機会になることが期待されます。このように平和園はますます活発になってきています。皆様のご支援よろしくお願いいたします。





医 局



5年振りにセント・ルカ セミナーを開催しました



開場前のミーティングは、
スタッフ全員緊張の面持ちです



吉村 泰典 先生



久慈 直昭 先生



山本 俊至 先生



佐藤 昌司 先生



活発な質疑応答が行われました



小林 栄仁 先生



小川 昌宣 先生



山縣 一夫 先生



野曾原 誉枝 先生

非常に多くの方にご参加いただき、有意義な「セント・ルカセミナー」を5年ぶりに開催することができました。これも皆様方のご支援とご愛顧によるものと、心より感謝いたします。

異なる立場から深い知見、本質的な切り口でのご提言の数々、とても勉強になり見識を深めることができました。ご登壇いただきました先生方、心より感謝いたします。

(医局)

研 究 室

着床前胚異数性検査 (PGT-A) 先進医療B承認について

現在 PGT-A は全て自費診療として行われてきていますが、このたび当院において先進医療Bとして承認され、行えるようになりました。(2024/12/13 現在)

実施期間は2028年3月31日まで、当院を含む対象機関3施設において実施されます。
(人数制限もあります)

PGT-A 先進医療Bの適応基準(①②をみたすこと)

- ① 体外受精が保険適用の採卵である
- ② これまでの治療歴において2回以上の胚移植が不成功または2回以上の流産(化学流産は除く)経験がある

PGT-A を受けるには血液検査等の準備が必要です。
ご希望の方はお声かけください。

詳しくは当院の院内掲示、ホームページ、インスタグラムを随時更新していきますのでご覧ください

第23回 生殖バイオロジー東京シンポジウム参加



9月8日に行われた第23回生殖バイオロジー東京シンポジウムにて室長の後藤香里が「着床期子宮内膜細胞に発現する妊娠関連遺伝子へ影響を与える因子の検討」で優秀演題賞を受賞しました。

凍結融解胚移植時に研究の同意が得られた71周期を対象に、通常胚移植後に廃棄する予定の胚移植用カテーテルに付着した子宮内膜細胞を採取し、子宮内膜に発現する妊娠関連遺伝子の発現量と患者因子(年齢やホルモン値など)との関係について検討しました。その結果、高齢、薄い子宮内膜厚、融解決定時の低エストラジオール濃度、胚移植後のカテーテルに血液が付着する場合に妊娠関連遺伝子の発現に差を認め、着床に不適な子宮内環境であることが示唆されました。



看護部



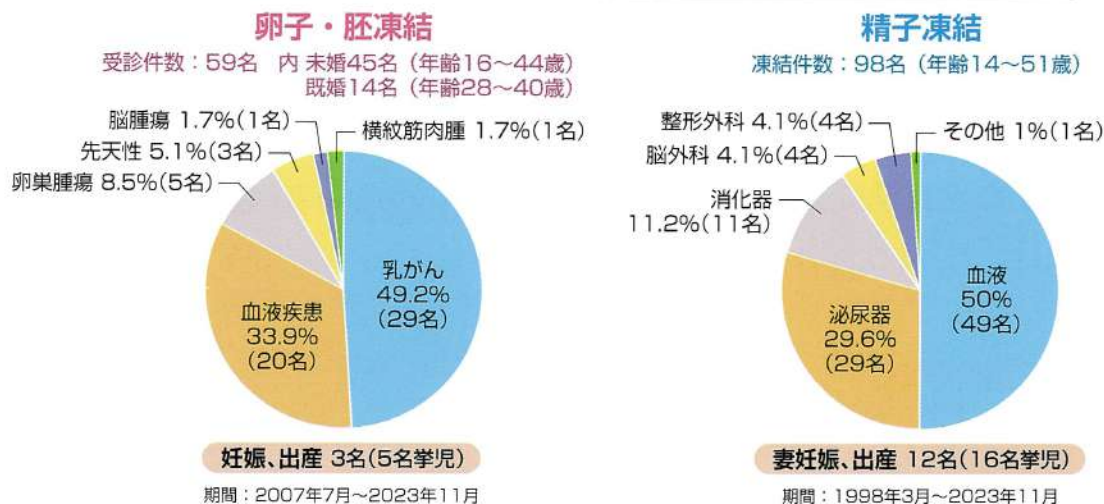
AYA世代がん患者への生殖医療の情報提供の現状と今後の対応を考える

看護部 宮田 美紀

目的

現在、がんは完治できる疾患として捉えられている。AYA世代のがん患者の妊孕性温存治療の負担の軽減を図るために何が必要かを検討し、今後につなげていきたい。

当院における妊孕性温存のための卵子・胚・精子凍結希望患者の内訳



患者質問紙調査の結果

妊孕性温存治療しておけば良かった。
知っていたら妊孕性温存治療をしたかった。

がんの告知の前に（検査中の段階で）、
妊孕性温存治療の説明を聞きたかった。

がん告知により精神的に余裕がなくなり
妊孕性温存治療を考える余裕が持てなかった。

将来的な予測が分からないため
妊孕性温存治療について決定が難しかった。

がんの治療は多少想像できたが、がん専門医より
説明を受けるまで、妊孕性温存治療を知らなかった。

医療者側の担当職員への質問紙調査結果

この治療に関して どのような情報があればよいと考えますか？

パートナーの有無、婚姻の予定の有無
キーパーソンは誰？ 説明は誰に？ 最終的な決定の確認を誰にしたらよい？
必要性の程度については積極的に希望している、説明を聞きたい、連れてこられたかなど
妊孕性温存治療に対する受容の状況や、病状を知ったうえで妊孕性温存治療を希望しているのか
がん治療病院と妊孕性温存の施設が別々であるため情報共有が難しいことがあげられました

考察

妊孕性温存治療は一般的にはまだ知られていない為、その対象になった時に初めて聞くが、温存治療できる期間は大変短く、ゆっくり考える時間もなく決定しなければならないという厳しい状況もあると考えられる。確定診断がされる前に情報提供できれば、患者にとって意思決定が少し容易になると考えられる。がん治療病院と妊孕性温存治療施設の連携により、患者情報を共有することで、安心して治療に臨める環境が提供できると考える。大分県では乳がん患者において、がん担当医から生殖担当医側へのチェックシート方式を考案したことで情報共有が改善された。患者情報においてもチェックシート方式のような情報提供の方法の整備が必要と思われる。



心理専門相談室



「夫（妻）とよく喧嘩してしまう」「職場での居心地が悪い…」

心理相談室に来室された方の中には、夫婦間のすれ違いや治療と仕事の両立・職場内の人間関係で悩みを抱えている方が多くいらっしゃいます。

そこで、今回は対人関係のストレス緩和に効果的な「アサーション」をご紹介します。

1. アサーションとは？

⇒自分を大切にしながら、相手のことも大切にできるような自己表現を使うこと。
お互いが納得できる着地点が見つかりやすく、その後の人間関係も良好になる。
職場や夫婦・家族・友人間など様々な場面で活用できる。



- 相手を不快にさせずに、自分の意思を伝えることができる
- 自分の言いたいことを我慢せずに伝えることができる
- 円滑なコミュニケーションができる



○対人関係のストレス緩和
○こころの健康につながる

2. アサーティブなコミュニケーションのためのトレーニング方法

⇒自分も相手も尊重するアサーティブなコミュニケーションを行うための代表的な方法をご紹介します。

(1) DESC 法

⇒4つの段階に分け、順序立てて相手に気持ちを伝える方法。
どう伝えればいいのか迷うとき、トラブルを解決しようとする時などに役立つ。



例) これから通院の予定があるのに、上司から「残ってこの業務をして」とお願いされてしまった。



これから、大事な予定があります。



申し訳ないのですが、今日残業することは難しいです。



ですが、明日であれば対応可能なので、明日の朝でも良いでしょうか？



→相手が了承した場合
ありがとうございます。
→相手が了承しない場合は、対応可能な人を探しましょうか？

(2) Iメッセージ

⇒主語を「You（あなた）」から「I（私）」に置き換えて伝える手法。

YOU（あなた）メッセージ	I（私）メッセージ
・強い言葉になる ・主張を押し付けられたと感じられやすい ⇒相手の反発が増える	・やさしい表現になる ⇒自分の主張が受け入れられやすくなる

例) 私は夫が「治療に対して興味を持ってくれない」と不満を感じている。



あなたはいつも治療に無関心だね。

私はあなたから「今日の治療はどうだった？」って聞いてくれると嬉しいの。



例) 私は「妻をどうやって支えればいいのかわからない」ため、困っている。



あなたは僕が言うことやすることをいつも否定するよね。

僕はあなたが僕にして欲しいことを具体的に伝えてくれた方が助かるんだ。



- 「なんだかもやもやする」「誰かに話を聞いてほしい」と思うことはありませんか？
- つらくなったときは、お気軽に心理相談室へお越しください。

参考文献：平木典子(2015)
「アサーションの心 自分も相手も大切にコミュニケーション」
朝日新聞出版 など

受 付

不妊治療費助成金制度について

妊活応援検診費助成制度

不妊検査に要した費用の自己負担額について、
夫婦 1 組につき 1 回限り 3 万円を上限として助成されます。



対象となるかた

下記の(1)～(3)のすべての要件を満たす方

- (1) 検査開始日に法律上の婚姻をしている夫婦または事実婚関係にある夫婦
- (2) 検査開始日の妻の年齢が43歳未満であること
- (3) 申請時に、夫婦の両方または一方が大分県内において現に居住しており、かつ住民登録をしていること

※ただし、大分市にお住まいの方は、大分市に申請を行ってください。

※令和2年10月1日以降に、人工授精又は体外受精・顕微授精を行った場合、その後の検査は対象外

不妊治療費(先進医療)助成事業

生殖補助医療のうち保険適用治療と併せて行った

先進医療にかかる費用に対して 7 割(上限 10 万円)が助成されます。

採卵から胚移植までの一連の治療毎に申請可能です。

詳しい内容は、初診時にお渡ししているパンフレットに記載されています。
ご確認ください。



医療機関側が作成する証明書は、お預かりして2～3週間ほどお時間を頂いております。

ご希望の方は、申請期限がありますのでお早めに受付へのお声掛けをお願いします。

受診等証明書は、お渡し時にお会計が発生します。

独自の不妊治療費助成金制度がある市町村があります。
詳しくは、市町村のホームページでご確認をお願いします。



情報処理室



2023年 年報を発行しました

当院では、毎年年報を作成しています。開院記念の6月の発行を目指して、情報処理室では3月頃から診療データの統計作業がスタートします。日々蓄積された膨大なデータをもとに、妊娠率やグラフなどを出しています。

他にも、院長の「巻頭言」、スタッフによる「1年を振り返って」など、読み応えのある1冊です。

ホームページからご覧になれますので、チェックしてみてください。



Instagramはじめました

フォローうれしいです

SiLuke



STLUKE_CLINIC

2023年12月から、Instagramをはじめました。

ホームページには掲載していない学会参加報告や院内行事、皆さんにお知らせしたいことなどをアップしています。学会参加報告の写真は、参加したスタッフが、毎回 Instagram 用に撮って来てくれます。当院主催のセミナー案内や診療予定も掲載していますので、ホームページと合わせて是非ご活用ください。

今後は、院長が治療の疑問に答えるショート動画の配信を計画中です。聞きたい内容があれば教えてください。

こんな投稿をしています



厨房

レシピ紹介

いつもの料理に、もう1品いかがでしょうか？

鮭のマリネ

材 料 (4人分)

生鮭	1切れ
トマト	1個
きゅうり	100g
玉ねぎ	100g

ドレッシング

レモン汁	大さじ1
酢	大さじ2
オリーブオイル	大さじ4
塩	小さじ1/2
粒マスタード	大さじ1/2
こしょう	少々



鮭はカルシウムの吸収を助けるビタミンDや、女性ホルモンの代謝を助けるビタミンB₆が含まれる。

トマトに含まれるリコピンは、血糖値を下げる、悪玉コレステロールを抑制する効果がある。

作り方

- ① ボウルに調味料を入れ混ぜ、ドレッシングを作る。
- ② 生鮭をフライパンで焼く。焼けたら、骨を取りほぐす。
- ③ 玉ねぎを縦・横半分にし、3mm幅に切り、水にさらす。→ ザルにあげ、水気を切り、先に①に浸しておく。
- ④ きゅうり(乱切り)、トマト(くし切りして半分に切る)に②と③を入れ、混ぜ合わせる。

きくらげは、食物繊維が多く含まれているので便秘の解消や、非ヘム鉄が多いので、貧血予防にも役立つ。

作り方

- ① Aを混ぜておく。
- ② 下ごしらえをする。
 - ・もやし → 茹でて、ザルに上げ、水気を切る。
 - ・きくらげ → 水で戻して、茹でて、細切りする。
 - ・きゅうり → 細切りして、塩を振って、水気を出す。
 - ・人参 → 細切りして、サッと茹で、ザルに上げ、水気を切る。
 - ・生姜 → 千切りにする。 ・カニカマ → 手で割く。
- ③ ②をボウルにほぐし入れ(もやし・きゅうり・人参は軽く絞る)、混ぜておいた①を入れ、和える。



もやしの和え物

材 料 (4人分)

もやし	1袋
乾燥きくらげ	3g
きゅうり	60g
人参	25g
生姜	10g
カニカマ	25g

A

濃口醤油	小さじ4.5
酢	小さじ4
砂糖	小さじ4



学会参加

今年は各学会のほとんどがwebも含む現地開催となりました。当院では、口頭発表21題、ポスター発表8題の研究成果を発表させていただきました。また、コロナウイルス感染症の流行前のような活気溢れる意見交換や多施設との交流もできました。

1/10 第2回 臨床遺伝医療部症例検討会（福岡）

発表：「不妊患者のPGT-Aに対する意識」（院長）

2/25 第21回 日本生殖心理学会・学術集会（岐阜）

ポスター：「不妊治療公的医療保険適用に関する患者の反応と今後の課題」（甲斐忍）

2/27 第132回 大分県周産期研究会（大分）

発表：「タイムラプスモニタリングシステムを用いた受精卵解析」（矢野綾音）

「腹式子宮筋腫・腺筋症核出術後患者の創部に対する関わりと退院支援の検討」（大塚華恋）

4/7 第80回 九州・沖縄生殖医学会（福岡）

発表：「タイムラプス搭載型培養器と通常培養器における臨床成績の比較検討」（矢野綾音）

「胚移植時の子宮内膜細胞に発現する妊娠関連遺伝子へ影響を与える因子の検討」（後藤香里）

「AYA世代のがん患者に生殖医療の情報提供を行うために」（宮田美紀）

「体重指導を実施したBMI32の患者の一症例」（坂本順子）

「PCOSに対する腹腔鏡下卵巢多孔術の有効性の検討」（伊東裕子）

ポスター：「多嚢胞性卵巢症候群患者における妊娠前糖代謝異常と妊娠合併症の検討」（甲斐由布子）

4/20 第76回 日本産科婦人科学会学術講演会（横浜）

ポスター：「PCOSに対する腹腔鏡下卵巢多孔術の治療成績の検討」（伊東裕子）

5/17 第65回 日本卵子学会学術集会（神戸）

発表：「当院におけるタイムラプス搭載型培養器と通常培養器での臨床成績の比較検討」（矢野綾音）

「胚移植時子宮内膜細胞を用いた妊娠関連遺伝子へ影響を与える因子の検討」（後藤香里）

6/25 第133回 大分県周産期研究会（大分）

発表：「初診患者と着床前胚染色体検査（PGT-A）を検討中の患者のPGT-Aに対する意識調査」（衛藤菜績）

「AYA世代がん患者への生殖医療の情報提供の在り方を考える」（宮田美紀）

8/18 令和6年度 大分産科婦人科学会・大分県産婦人科医会総会（大分）

発表：「当院で腹腔鏡下アルコール固定術を施行した症例の周産期予後についての検討」（津野晃寿）

8/22 第42回 日本受精着床学会総会・学術講演会（大阪）

発表：「タイムラプス搭載型培養器と通常培養器のSplit培養における成績比較」（矢野綾音）

「胚移植周期の子宮内膜細胞に発現する妊娠関連遺伝子

（Progesterone receptor および Homeobox A10）へ影響を与える因子の検討」（後藤香里）

「AYA世代がん患者への生殖医療の情報提供を行うために」（宮田美紀）

「生殖補助医療保険適用の光と影」（院長）

ポスター：「多嚢胞性卵巢症候群患者における妊娠前糖代謝異常と妊娠合併症の検討」（甲斐由布子）

9/8 第23回 生殖バイオロジー東京シンポジウム（大阪）

ポスター：「タイムラプス搭載型培養器と通常培養器のSplit培養における培養成績の検討」（矢野綾音）

「着床期子宮内膜細胞に発現する妊娠関連遺伝子へ影響を与える因子の検討」（後藤香里）

11/10 第19回 大分県母性衛生学会総会・学術集会（大分）

発表：「AYA世代がん患者への生殖医療の情報提供の現状と今後の対応を考える」（宮田美紀）

11/14 第69回 日本生殖医学会学術講演会・総会（名古屋）

発表：「タイムラプス搭載型培養器と通常培養器のSplit培養における比較検討」（衛藤菜績）

「AYA世代がん患者の生殖医療の現状と今後の対応を考える」（宮田美紀）

「体重指導を行い減量に成功した不妊患者の一症例」（坂本順子）

ポスター：「反復不成功体外受精治療中の男性患者に対するPQQ（ピロロキノリンキノン）

配合サプリメント服用前後の精液所見と培養成績の比較について」（神田晶子）

「多嚢胞性卵巢症候群患者における妊娠前糖代謝異常と妊娠合併症の検討」（甲斐由布子）

開院32周年記念

2024年6月3日(月)

32周年を迎えました。
これからも患者さんが安心して通院できるような
チーム医療を提供していきたいと思ひます。



開院から2023年12月までの成績

外来患者数 ————— 32,482人
 男性 ————— 12,392人
 女性 ————— 20,090人
 拳児希望女性数 ————— 15,779人

妊娠件数 ————— 10,504件
 妊娠に至らなかった女性 ————— 7,103人

患者あたりの妊娠率 ————— 55.0%

※治療を途中で諦めた女性 ————— 7,615人

【内訳】

- 一度も妊娠に至らなかった女性 — 6,677人
- 一度でも妊娠した女性 ————— 938人
 - a. いつの間にか諦めた女性 ————— 5,017人
 - b. 諦めざるをえなかった人
 (無精子症、早発閉経、高齢など) ————— 1,975人
 - c. 当院での治療を諦めた女性
 (転勤、転院、離婚、死別、死去など) ————— 623人

分娩病院紹介に至った女性 ————— 7,539人

実妊娠率 ————— 92.3%
 (拳児希望の患者さんから途中で諦めた人を除いた妊娠率)



忘年会



2023年12月9日(土) トキハ会館

今回は久しぶりの忘年会でした。例年各部署からの出し物はせずに、クイズやビンゴ等のゲームを行いました。普段関わることのない企業の方や先生方とお話でき、良い機会でした。

顔面
ふせん
貼り今年
の
レク
係
さん
お
癒
れ
様
で
した！

ビンゴ

PGT-A 説明会

2024年10月9日(水)、19日(土) 当院4階 多目的ホール

着床前胚異数性検査 (PGT-A) の先進医療での開始を目前に、PGT-A 説明会を2度開催しました。10月9日は17組、10月19日には21組ものご夫婦の参加があり、沢山の方が説明を聞きに来院されました。PGT-A のことを理解していただき、ご夫婦でよく相談していただけたらと思います。今回の先進医療としての PGT-A は実施症例数が限られている為、希望される患者さんの多くが満足 of いく治療につながれば良いなと思います。





クリスマス会

2023年12月25日(月) 当院3階 待合室・4階 多目的ホール



院長からは過去に自身が経験した奇跡のお話をして頂きました。

Merry Christmas



クリスマス会では患者さんと一緒にクリスマスソングを歌ったり、日本福音ルーテル教会の先生よりお話をいただいたり、アンサンブル・ルーチェのクラシックの生演奏を聴くことができました。

普段できない体験ができ、感動と鳥肌が止まりませんでした。

日本福音ルーテル教会
▲野村陽一先生
◀関満能先生



お茶会では厨房スタッフが作ってくれたシュトーレン等のお菓子を食べながら先生方のお話や患者さんともお話をさせていただきました。



消防訓練

2024年5月21日(火)・11月19日(火)

年に2回行われる消防訓練は毎回火元と状況設定を変えて実施されています。毎回反省点は多くあがりますが、院内ミーティングにてそれぞれにしっかり対策を練り、緊急時、全スタッフが迅速に対応できるように今後も継続して行っています。



新人紹介



古藤田 早記

検査室

今年の4月より入職いたしました。初めてのことも多く、先生方や先輩方にご指導いただきながら日々勉強しています。迅速かつ正確に検査を行い、患者様に寄り添える医療・環境づくりを心がけ努力して参ります。よろしくお願いいたします。



丸澤 茜

看護部

3月より入職し、初めての事が多くご指導頂きながら勉強の日々です。まだ至らないところもありますが、皆様に寄り添い笑顔で安心して治療に臨めるよう努力して参ります。よろしくお願いいたします。



後藤 彩乃

看護部

5月に入職し、4ヶ月が経ちました。まだまだ不慣れな私ですが、忙しい中でも優しく指導して下さる先輩方に感謝しています。当院で治療を頑張っている患者さんの力に少しでもなりたいと感じながら日々を過ごしております。よろしくお願いいたします。



藤澤 奈々

心理専門相談室

今年の4月より入職し、日々勉強に励んでいます。治療を頑張る皆さんにほっと安らぐお時間を過ごしていただけるような相談室を目指し努力して参ります。よろしくお願いいたします。

2024年を振り返って

01.10	九州大学病院 第2回 臨床遺伝医療部症例検討会(福岡) 参加(院長) 発表:「不妊患者のPGT-Aに対する意識」(院長)	03.14	ドナーリンク・ジャパン連続セミナー出自を知る権利を考える 第2回「ビクトリア州のドナー情報開示をめぐる制度の変遷 とそれに関する議論」(WEB) 参加(院長)
01.11	化学物質管理者講習(大分) 参加(亀井)	03.17	令和5年度 大分県医師会母体保護法指定医師研修会(大分) 参加(甲斐由、津野、伊東、院長)
01.14	日本産科婦人科内視鏡学会第3回拡大学術研修会(神戸) WEB参加(院長)	03.21	マイノリティ宣教センター国際人種差別撤廃デー講演会・ 合同祈祷集会(WEB) 参加(院長)
01.20	第45回 日本エンドメトリオシス学会学術講演会(東京) 参加(戸高、後藤裕、院長)	03.22	株式会社Revorf不育症オンラインセミナー(WEB) 参加(院長)
01.25	オリジオジャパンウェビナー(WEB) 参加(院長)	03.23	第81回 ガーネットサークル 参加者3名
01.29	MSD株式会社HPVワクチンオンラインセミナー(WEB) 参加(院長)	03.26	Oncofertility Consortium Japanミニワークショップ@香川 ～香川県のがん・生殖医療と連携について考える～(香川) WEB参加(院長)
01.29	福岡臨床遺伝研究会(WEB) 参加(伊東)	03.27	株式会社ジネコ フリーマガジン『ジネコ』夏号(Vol.62)取材/ オンライン質問会(WEB) 講師(院長)
02.03	日本生殖看護学会 2023年度 不妊症看護認定看護師 ポストコース研修会(WEB) 参加(薬師寺)	03.28	大分県産婦人科医会 「OCEAN STUDY事業開始のお願いと概要説明」(大分) 参加(院長)
02.03	ドナーリンク・ジャパン主催イベント 「精子ドナーとAIDで生まれた人の対談会」(WEB) 参加(院長)	03.30	JISART非配偶者間生殖医療啓発事業PT 第1回 オンラインセミナー(WEB) 講師(上野) 参加(院長)
02.03	2023年度 不妊症看護ポストコース研修会(WEB) 参加(薬師寺)	04.01	日本生殖心理学会 生殖医療相談士認定(受付:山本佳子)
02.03	第86回 JISART理事会(WEB) 参加(院長)	04.01	新入職員 古藤田早記(検査室)
02.06	JAPCO世話人会会議(WEB) 参加(院長)	04.02	新入職員 藤澤奈々(心理相談室)
02.08	令和5年度 内閣府「性犯罪被害者等支援体制整備のための研修」 医療関係者等研修(WEB) 参加(院長)	04.03	新入職員 毛利智子(看護部)
02.09	JISART倫理委員会(WEB) 参加(院長)	04.03	クーパサー・ジカル・ジャパンウェビナー(WEB) 参加(院長)
02.10	第17回 治療の終結を決断した方のお話が聞ける会 OG・OB2名、参加者10名	04.03	Cervical Cancerフォーラム in 大分(WEB) 参加(院長)
02.13	院内全体研修:個人情報について(担当:情報処理室)	04.05	第19回 九州産婦人科内視鏡手術研究会(福岡) 参加(伊東、院長)
02.17	第81回 プレコンセプション・妊活セミナー(大分・トキハ会館) 講師(上野(臨床心理士)、院長、緒方俊一先生 (わさだかりつけ医院泌尿器科クリニック)) 参加(園田、山路、魚住、山本、三宮、濱、北山、衛藤、 亀井、坂本、後藤裕、甲斐由、津野、伊東)	04.06	医療法人アイブイエフ詠田クリニック25周年記念会(福岡) 参加(院長)
02.19	令和5年度 AMED苛原班班会議(WEB) 参加(院長)	04.07	第80回 九州・沖縄生殖医学会(福岡) 参加(矢野綾、後藤香、宮田、坂本、後藤裕、甲斐由、 伊東、院長)
02.20	安全管理研修:令和5年度 倫理指針改定と倫理委員会について (担当:研究室・培養室)		座長:セッション2「培養・胚評価」(伊東) 発表:「タイムラプス搭載型培養器と通常培養器に おける臨床成績の比較検討」(矢野綾音) 「胚移植時の子宮内膜細胞に発現する妊娠関連 遺伝子へ影響を与える因子の検討」(後藤香里) 「AYA世代のがん患者に生殖医療の情報提供を 行うために」(宮田美紀) 「体重指導を実施したBMI 32の患者の一症例」 (坂本順子) 「PCOSに対する腹腔鏡下卵巣多孔術の 有効性の検討」(伊東裕子) ポスター発表:「多嚢胞性卵巣症候群患者における 妊娠前糖代謝異常と妊娠合併症の検討」 (甲斐由布子)
02.22	第261回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分) WEB参加(甲斐由、津野、伊東、院長)	04.19	第76回 日本産科婦人科学会学術講演会(横浜) 参加(伊東) WEB参加(甲斐由、院長) ポスター発表:「PCOSに対する腹腔鏡下卵巣多孔術 の治療成績の検討」(伊東裕子)
02.24	日本生殖心理学会 第15回 資格継続研修会(岐阜) 参加(甲斐由)	04.24	令和6年度 第1回 大分県母性衛生学会学術集会運営委員会 (大分) 参加(坂本、院長)
02.24	第21回 日本生殖心理学会・理事会・評議員会(岐阜) 参加(院長)	05.01	新入職員 後藤彩乃(看護部)
02.25	第21回 日本生殖心理学会・学術集会(岐阜) 参加(青木、甲斐由、院長) ポスター発表:「不妊治療公的医療保険適用に関する 患者の反応と今後の課題」(甲斐由)	05.07	院内全体研修:医療ガス研修(担当:研究室・培養室)
02.25	2024年度 JISART審査説明会/審査研修(WEB) 参加(坂本)	05.08	九州大学病院 第4回 臨床遺伝医療部症例検討会(福岡) WEB参加(伊東)
02.26	福岡臨床遺伝研究会(WEB) 参加(伊東)	05.10	Zero Complication 安全なTLHを考えるー私のMethodー(大分) 参加(院長)
02.27	第132回 大分県周産期研究会(大分) 参加(園田、山路、魚住、油野、高橋、山本、佐藤友、 三宮、岡、濱、青木、越名、後藤厚、北山、衛藤、 矢野綾、神田、長木、後藤香、大塚、甲斐由、亀井、 松元、足立、松土、後藤裕、甲斐由、伊東) 発表:「タイムラプスモニタリングシステムを用いた 受精卵解析」(矢野綾音) 「腹式子宮筋腫・腺筋症核出術患者の創部に 対する関わりと退院支援の検討」(大塚華恋)	05.14	大分県HPVワクチンセミナー(大分) 参加(院長)
02.28	ドナーリンク・ジャパン連続セミナー出自を知る権利を考える 第1回「英国の匿名ドナー廃止への道のりと現在・未来」(WEB) 参加(院長)	05.17	VarinosWEBセミナー(WEB) 参加(院長)
03.04	新入職員 丸澤茜(看護部)	05.17	第65回 日本卵子学会学術集会(神戸) 参加(北山、衛藤、矢野綾、後藤香、院長) 座長:一般口演 精子(臨床)(院長) 発表:「当院におけるタイムラプス搭載型培養器と通常 培養器での臨床成績の比較検討」(矢野綾音) 「胚移植時子宮内膜細胞を用いた妊娠関連 遺伝子へ影響を与える因子の検討」(後藤香里)
03.06	レリミナ発売5周年記念WEB講演会(WEB) 参加(院長)	05.21	院内全体研修:消防訓練(担当:研究室・培養室)
03.08	令和5年度 第2回 大分県産婦人科医会・大分産科婦人科学会 研修会(大分) 参加(山路、魚住、油野、高橋、三宮、青木、越名、 後藤厚、衛藤、矢野綾、宮田、松元、足立、後藤裕、 甲斐由、津野、伊東、院長)	05.25	第82回 プレコンセプション・妊活セミナー(大分・トキハ会館) 講師(上野(臨床心理士)、院長、緒方俊一先生 (わさだかりつけ医院泌尿器科クリニック))
03.12	東区内科医学会学術講演会(WEB) 参加(院長)		
03.13	ドナーリンク・ジャパン主催オンライン対話イベント 「ニュージーランドから精子提供者と彼の提供で 生まれた女性をむかえて」(WEB) 参加(院長)		
03.13	九州大学病院 第3回 臨床遺伝医療部症例検討会(福岡) WEB参加(伊東、院長)		

05.27	参加(園田、山路、高橋、三宮、関、古藤田、北山、矢野綾、藤澤、戸高、坂本、甲斐由、津野、伊東)	06.25	院内全体研修:検査機器について(担当:検査室)
05.28	福岡臨床遺伝研究会(WEB) 参加(伊東)	06.25	第133回 大分県周産期研究会(大分)
05.28	院内マネジメントレビュー		参加(園田、山路、魚住、油野、高橋、山本、佐藤友、三宮、関、濱、青木、越名、古藤田、後藤厚、北山、衛藤、矢野綾、神田、長木、後藤香、甲斐忍、宮田、戸高、亀井、松元、坂本、足立、後藤裕、院長)
05.29	医薬品研修:医薬品の取扱いについて(担当:看護部)		発表:「初診患者と着床前胚染色体検査(PGT-A)を検討中の患者のPGT-Aに対する意識調査」(衛藤菜緒)
05.30	MSD株式会社 HPVワクチンリモート説明会(WEB) 参加(院長)		「AYA世代がん患者への生殖医療の情報提供の在り方を考える」(宮田美紀)
05.30	大分市医師会立大分看護専門学院講義(大分) 講師(薬師寺)		メルクバイオフアーマWebinar(WEB) 参加(院長)
05.30	大分県立看護科学大学講義(大分) 参加(古藤田)		大分県立看護科学大学講義(大分) 参加(古藤田、藤澤)
	講義:「不妊症講座」(院長)		講義:「出生前診断・着床前診断・遺伝カウンセリング」(院長)
05.30	メルクバイオフアーマWebinar(WEB) 参加(院長)	06.26	第7回 JAPCO会議(WEB) 参加(院長)
06.01	第16回 JISART医療事務教育セミナー(広島) 参加(関)		座長:講演1「PGT-A特別臨床研究の成果報告と先進医療の進捗状況について」(院長)
06.01	第16回 JISARTラボ教育セミナー(広島) 参加(神田)	07.05	第263回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分)
06.01	第15回 JISART心理教育セミナー(広島) 参加(上野)		参加(伊東) WEB参加(甲斐由、津野、院長)
06.01	第20回 JISART看護教育セミナー(広島) 参加(甲斐忍)	07.06	第82回 ガーネットサークル 参加者3名
06.01	第1回 JISART医師教育セミナー(広島) 参加(院長)	07.06	2024年度 第1回 日本子宮鏡研究会オンラインセミナー(WEB) 参加(院長)
06.01	第87回 JISART理事会(広島) 参加(院長)	07.06	ドナーリンク・ジャパン連続セミナー出自を知る権利を考える
06.02	第21回 JISARTシンポジウムおよび総会(広島)		第4回「「出自を知る権利」制度と当事者の想いー世界各国での取材からー」(WEB) 参加(院長)
	参加(関、神田、上野、甲斐忍、伊東、院長)	07.10	九州大学病院 第5回 臨床遺伝医療部症例検討会(福岡)
	座長:特別講演「配偶子提供で生まれた人の出自を知る権利をめぐる問題」(院長)		WEB参加(伊東、院長)
06.06	大分市医師会立大分看護専門学院講義(大分) 講師(薬師寺)	07.13	JISART倫理委員会(WEB) 参加(院長)
06.09	第225回 大分県医師会定例代議員会(大分) 参加(院長)	07.20	JISART倫理委員会(WEB) 参加(院長)
06.09	フォリスチム発売記念講演 HAPPY STORIES FROM THE WORLD(WEB) 参加(院長)	07.21	第8回 大分性教育セミナー
06.13	大分市医師会立大分看護専門学院講義(大分) 講師(薬師寺)		「子どもにどう伝えますか?『性』のこと」(大分・センチュリーホテル)
06.14	株式会社ジネコ フリーマガジン『ジネコ』秋号(Vol.63)取材		参加(園田、山路、魚住、油野、高橋、山本、佐藤友、三宮、青木、越名、衛藤、矢野綾、藤澤、甲斐忍、足立、薬師寺、後藤裕、甲斐由、伊東、院長)
06.14	第262回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分)		講演1:「私の行っている性教育の実態と配慮すべきこと」
	WEB参加(甲斐由、津野、伊東、院長)		演 者:蓮尾豊先生
06.15	大分内視鏡外科学会世話人会(大分) 参加(院長)		〈おおもり女性ヘルスケア研究所 所長〉
06.18	院内全体研修:医療接遇(担当:受付)		座 長:宮川勇生先生(大分大学 名誉教授)
06.21	株式会社Revorfウェビナー(WEB) 参加(院長)		講演2:「その性は愛じゃない ～性被害と性加害・その構造～」
06.21	ドナーリンク・ジャパン主催オンラインイベント		演 者:楠本裕紀先生(阪南中央病院 産婦人科部長)
06.21	「子どもの出自を知る権利について考える」(WEB) 参加(院長)		座 長:谷口久枝先生(ひなた女性クリニック 院長)
06.23	第27回 セント・ルカセミナー	07.25	第2回 Merck ART Symposium(WEB) 参加(院長)
	(大分・ホテル日航大分オアシスタワー)	07.30	院内感染研修:劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS) (担当:医局)
	参加(園田、山路、魚住、油野、矢野千、高橋、山本、佐藤友、三宮、関、濱、青木、越名、古藤田、後藤厚、衛藤、矢野綾、神田、後藤香、藤澤、上野、甲斐忍、戸高、亀井、坂本、足立、薬師寺、後藤裕、甲斐由、津野、伊東、院長)	07.31	MSD株式会社 HPVワクチンリモート説明会(WEB) 参加(院長)
	基調講演:「今なぜ子どもを守るための公的プラットフォームが必要か」	08.02	第48回 日本遺伝カウンセリング学会学術集会(東京) WEB参加(院長)
	演 者:古村恭典先生(慶應義塾大学 名誉教授)	08.04	2024年度 女性医療セミナー(WEB) 参加(院長)
	座 長:宮川勇生先生(大分大学 名誉教授)	08.18	令和6年度 大分産科婦人科学会・大分県産婦人科医会総会(大分)
	講演1:「ARTで出生した子どもの健康 ～長期予後調査から」		参加(甲斐由、津野、伊東、院長)
	演 者:久慈直昭先生(東京医科大学病院産科婦人科学教室 客員教授/Noah ART クリニック武蔵小杉 統括医師)		発表:「当院で腹腔鏡下アルコール固定術を施行した症例の周産期予後についての検討」(津野晃寿)
	座 長:絹谷正之先生(絹谷産婦人科 院長)	08.18	第3回 Faculty Developmentー教育内容の改善に向けてー (WEB) 参加(院長)
	講演2:「PGTの現状と今後」	08.19	新入職員 井上菜穂(看護部)
	演 者:山本俊至先生(東京女子医科大学大学院医学研究科先端生命医科学系専攻 遺伝子医学分野(ゲノム診療科) 教授)	08.22	第42回 日本受精着床学会総会・学術講演会(大阪)
	座 長:桑原章先生(レディスクリニックコスモス 院長)		参加(北山、矢野綾、後藤香、宮田、院長)
	ランチョンセミナー:「不妊治療保険適用後の現状と課題ー当事者からのメッセージー」		発表:「タイムラプス搭載型培養器と通常培養器のSplit培養における成績比較」(矢野綾音)
	演 者:野曾原菅枝先生(NPO法人Fine 理事長)		「胚移植周期の子宮内膜細胞に発現する妊娠関連遺伝子(Progesterone receptorおよびHomeobox A10)へ影響を与える因子の検討」(後藤香里)
	座 長:谷口久枝先生(ひなた女性クリニック 院長)		「AYA世代がん患者への生殖医療の情報提供を行うために」(宮田美紀)
	講演3:「生殖医療と遺伝カウンセリング」		「生殖補助医療保険適用の光と影」(院長)
	演 者:小川昌宣先生(京都大学病院倫理支援部/遺伝子診療部 特定准教授)		ポスター発表:「多嚢胞性卵巣症候群患者における妊娠前糖代謝異常と妊娠合併症の検討」(甲斐由布子)
	座 長:佐藤昌司先生(大分県立病院 院長)	08.28	福岡臨床遺伝研究会(WEB) 参加(伊東)
	講演4:「ライブセルイメージングによる胚の質の評価ー14年間の進捗ー」		
	演 者:山縣一夫先生(近畿大学生物理工学部 教授)		
	座 長:浅田義正先生(医療法人浅田レディースクリニック 理事長)		
	講演5:「子宮悪性疾患に対する縮小手術及び妊孕性温存手術について」		
	演 者:小林栄仁先生(大分大学医学部産科婦人科学講座 教授)		
	座 長:橋原久司先生(大分大学医学部産科婦人科 特任教授・名誉教授)		

08.31	第83回 プレコンセプション・妊活セミナー(大分・トキハ会館) 講師<上野(臨床心理士)、院長、緒方俊一先生 (わさだかりつけ医院泌尿器科クリニック)) 参加<山路、魚住、油野、佐藤友、青木、越名、古藤田、 藤澤、井上、戸高、坂本、津野>	11.14	第69回 日本生殖医学会学術講演会・総会(名古屋) 参加<衛藤、神田、宮田、坂本、院長> WEB参加<津野> 発表:「タイムラプス搭載型培養器と通常培養器の Split 培養における比較検討」(衛藤菜緒) 「AYA世代がん患者の生殖医療の現状と今後の 対応を考える」(宮田美紀) 「体重指導を行い減量に成功した不妊患者の 一症例」(坂本順子) ポスター発表:「反復不成功体外受精治療中の男性 患者に対するPQQ(ピロロキノリン キノン)配合サプリメント服用前後の 精液所見と培養成績の比較について」 (神田晶子) 「多嚢胞性卵巣症候群患者における 妊娠前糖代謝異常と妊娠合併症の検討」 (甲斐由布子)
09.02	JISARTデータの取り扱いに関する検討会(WEB) 参加<院長>	11.15	The 8th World Congress of the International Society for Fertility Preservation(東京) 参加<院長>
09.05	令和6年度 第2回 大分県母性衛生学会学術集会運営委員会 (大分) 参加<坂本、院長>	11.19	院内全体研修:消防訓練(担当:受付)
09.06	大分市医師会 悠悠会(大分) 参加<院長>	11.21	第54回 大分市医師会医学会(大分) 参加<山路、濱、北山、神田、松元、坂本、津野、院長> 発表:「当院における着床前胚染色体異数性検査 (PGT-A)/着床前胚染色体構造異常検査 (PGT-S)の取り組みについて」(神田晶子) 「不妊治療開始時BMI32の体重管理を 実施した一症例」(坂本順子)
09.07	第23回 生殖バイオロジー東京シンポジウム理事会(大阪) 参加<院長>	11.26	院内感染研修:梅毒(担当:医局)
09.08	第23回 生殖バイオロジー東京シンポジウム(大阪) 参加<矢野綾、後藤香、院長> ポスター発表:「タイムラプス搭載型培養器と通常 培養器のSplit培養における培養成績の検討」 (矢野綾音) 「着床期子宮内膜細胞に発現する妊娠 関連遺伝子へ影響を与える因子の検討」 (後藤香里)【優秀演題賞】	11.26	福岡臨床遺伝研究会(WEB) 参加<伊東>
09.08	第8回 ART JAPAN生殖医療研究会(東京) WEB参加<院長>	11.30	第84回 プレコンセプション・妊活セミナー(大分・トキハ会館) 講師<上野(臨床心理士)、院長、緒方俊一先生 (わさだかりつけ医院泌尿器科クリニック))
09.11	九州大学病院 第6回 臨床遺伝医療部症例検討会(福岡) WEB参加<伊東、院長>	12.01	第31回 臨床細胞遺伝学セミナー(WEB) 参加<院長>
09.12	第64回 日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会(東京) 参加<院長>	12.13	第10回 日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会(東京) 参加<津野、伊東、院長>
09.14	第88回 JISART理事会(WEB) 参加<院長>	12.14	遺伝カウンセリング・ロールプレイ研修会(東京) 参加<津野、伊東、院長>
09.24	医療機器研修:培養室における医療機器(担当:研究室・培養室)	12.15	日本産科婦人科学会臨床倫理監理委員会 「PGT-M認定施設向け 遺伝子バリエーション評価に関する講習会」 (東京) 参加<院長>
09.24	安全管理研修:食物アレルギー(担当:厨房)	12.16	JISART倫理委員会 本委員会(WEB) 参加<院長>
09.25	2024年度 出生前から小児期にわたるゲノム医療フォーラム 幹事会(WEB) 参加<院長>	12.17	JISART倫理委員会(WEB) 参加<院長>
09.26	第22回 日本生殖看護学会学術集会(群馬) WEB参加<薬師寺>	12.18	忘年会
09.26	国民健康保険法集団的個別指導(大分) 参加<院長>	12.21	クリスマス会
09.27	株式会社ジネコ フリーマガジン「ジネコ」冬号(Vol.64)取材 ドナールンク・ジャパン主催オンライントークイベント 「ドナー情報を探す旅を経て:サラ・ディンクルさんの ご経験を伺う」(WEB) 参加<院長>		著書 <院長>「PGT後の児の成長発達」 『着床前遺伝学的検査(PGT)の最前線と遺伝カウンセリング』 第5章PGTの近未来 196-204(株式会社メディカルドゥ)
09.30	女性医療を考える会(大分) WEB参加<伊東、院長>		論文 <戸高里美> 「不妊治療公的医療保険適用に関する質問紙調査」 『産婦人科の実践』73巻5号 485-490(金原出版株式会社)
10.02	JISART倫理委員会(WEB) 参加<院長>		<神田晶子> 「培養上清中に含まれる遊離DNAを用いた非侵襲的着床前 胚異数性検査(niPGT-A)の最適な培養液採取時期の検討」 『産婦人科の実践』73巻10号 1085-1091(金原出版株式会社)
10.05	第50回 日本産科婦人科医学会学術集会(大分) 参加<津野、伊東、院長>		
10.09	PGT-A説明会 参加者34名		
10.09	日本人類遺伝学会 第69回大会(札幌) WEB参加<院長>		
10.12	日本産科婦人科学会セミナー「日本の子宮頸がん予防の未来に 向かって」(横浜) WEB参加<院長>		
10.18	第14回 大分産婦人科手術研究会(大分) 参加<院長>		
10.19	日本の未来のためのプレコンセプションケア研究を考える 2024~小児・AYA世代がんのプレコンセプションケア~(東京) WEB参加<院長>		
10.19	PGT-A説明会 参加者42名		
10.26	第83回 ガーネットサークル 参加者3名		
10.30	福岡臨床遺伝研究会(WEB) 参加<伊東>		
11.06	株式会社ジネコ オンライン質問会(WEB) 講師<院長>		
11.10	第19回 大分県母性衛生学会総会・学術集会(大分) 参加<山本、青木、越名、宮田、亀井、甲斐忍、坂本、 薬師寺、後藤裕、甲斐由、伊東、院長> 発表:「AYA世代がん患者への生殖医療の情報提供の 現状と今後の対応を考える」(宮田美紀)		
11.13	九州大学病院 第7回 臨床遺伝医療部症例検討会(福岡) WEB参加<伊東、院長>		

妊娠報告件数

(2023.11.1~2024.10.31)

体外受精、顕微授精等

199件

*

その他(体外受精以外)

89件

計 288件



久住山

編集後記

今年は、5年ぶりにセント・ルカセミナーが開催されました。全国から著名な先生方を講師にお招きし、多くの貴重なお話を伺うことができました。新人の私にとっては初めての参加でしたが、最前線のお話を間近で聞くことができ、とても刺激を受けました。生殖補助医療はこのような先生方の熱い想いや探究心によって、年々進化・発展を遂げているのだらうと感じ、私も臨床、研究に頑張ろうと思いました。来年も一人でも多くの患者さんに赤ちゃんが授かるよう、スタッフ全員が一丸となって頑張っていきたいと思いました。(新聞係)